

高輪会会報

Reunion of Tokai University Takanawadai Senior High School



東海大学附属高輪台高等学校同窓会会報

発行所：東海大学附属高輪台高等学校同窓会
〒108-8587 東京都港区高輪2-2-16
Tel.03-3448-4011 Fax.03-3448-4020



Vol.16

「高輪会」は、電気通信工業学校、電波工業学校、東海工業学校、東海高等学校・併設東海中学校、東海電波高等学校、東海大学高輪台高等学校、および東海大学附属高輪台高等学校の同窓会です。
題字は東海大学総長松前達郎先生

第六回定期総会を終えて



高輪会会長 土方 啓司

昨年11月7日、東海大学校友会館において高輪会「第六回定期総会・懇親会」が滞りなく挙行されました。当日は多くの恩師・会員の皆様のご参加をいただき次頁の総会・懇親会報告にもあるように内容の濃い総会並びに感動を受けた懇親会となりました。これも日頃から高輪会活動にご協力いただいている皆様のお陰と役員一同心から感謝すると共に会報誌面をお借りして改めて御礼申し上げます。

母校「高輪台高等学校」は東海の中でも一番の歴史を持った学校であることは既にご存知のことと思われます。昨年、学校から『高輪台高等学校の「校章」の変遷を記録に残し後世に伝えたい』との要望があり高輪会としても望むところと賛成しました。高校時代の学校の校章は、青春時代のシンボルでもあり何時までも記憶に残っている方々が多いと思っております。現在の「波・鷗の羽をデザイン化した上に高の文字」校章は既に20年を超える年月が経ちます。

その前「富士山・波・鷗の羽が横に広がった上に東海の文字」校章は10年以上使われていました。更に前「富士山・波・鷗の羽の上に東海の文字」校章は終戦から30年以上使われていました。この辺りまでは多くの皆さんの記憶に残っているものと思っております。それでは更にその前「五弁の花弁に工の文字」或いは「五弁を回転配置した中に信工の文字」

校章に至っては東海の文字も入ってなく「知っている」又は「覚えている」と言う方々は極僅かかと思われます。特に学校創立当初は太平洋戦争終戦前の戦況不利となって来た中で明確な記録も残ってなく、高輪会会員である先輩諸氏が持たれていた資料・記憶等を頼りに調査した結果、ようやく輪郭が判って来ました。

それらの結果を大きく「終戦前」と「終戦後、東海の名称が入った時期以降」とに分けて図のように作成しました。本年は1951(昭和26)年に発足した「東海同窓会」から60年の節目の年ともなります。その年を前にしてこのような記録を残せたことは一つの区切りともなるものと思っております。この額は高輪台高等学校の「校長室」と「正面玄関」とに展示されておりますので、会員の皆様、母校に来られた折には是非ご覧いただき往時を懐かしんでください。

高輪会は本年の行事として別頁詳細にもあるように「屋形船懇親会」を計画しています。高輪会には同業種・異業種の方々が沢山いらっしゃいます。日常で会話する機会のない方々も唯一「同窓」であることを絆に懇談できるチャンスが屋形船懇親会でもあります。これを機会に是非ともご参加いただき多めに語り合いたいものです。

屋形船でお会いしましょう。

「校長室」と
「正面玄関」とに
展示されています。



第六回高輪会定期総会報告

平成22年11月7日(日)霞ヶ関 東海大学校友会館(阿蘇の間)にて定期総会を実施し、恩師、同窓生含め約90名の参加を頂きました。以下に総会の概略をご報告致します。

< 総合進行役 杉山守男(S40年卒) >

- 開会の辞 三浦政彦(S40年卒)
- 会長挨拶 土方啓司(S36年卒)
- 学校長挨拶 片桐知己治先生

に続き、

[2009年度]

- ・第1号議案 事業報告 提案者 宍倉 修 副会長
監査報告 報告者 伊藤信雄 監査役
- ・第2号議案 会則改訂 提案者 中島洋介 副会長
- ・第3号議案 役員改選 提案者 広村直行 副会長

の順で提案・報告があり、満場一致にて承認されました。

会則改訂の主な変更点は、会長補佐を新たに置き会長有事の際の代行として会運営全般を統括することが出来るようになりました。役員改選で会長補佐には「町田茂雄」(S38年卒)が新役員として選任されました。

[2010年度]

- ・第1号議案 事業計画 提案者 中島洋介 副会長

上記、1号議案の提案を受けて新たに2010年度の「高輪会」のスタートとなりました。



この後、功労者表彰として長年副会長で高輪会のために尽力頂きました三浦政彦氏に会長より表彰を受け記念品を添えました。

これにて議事を終了し、懇親会へと移りました。



懇親会に於いては、宍倉 副会長・鶴岡薫 理事の総司会会の元、プロの音楽家集団「ムジカ・フレスカ」の皆さんの美しい演奏中、「乾杯の歌」でスタートしました。

懇親会は各テーブル恩師・同窓生と楽しい会話が進み「ムジカ・フレスカ」の数々の演奏を聴きながら一時を過ごしました。

この中で、土方会長が昔耳にし記憶に焼き付いている「東海科学専門学校」時代の生徒が作詞した「逍遙歌」(しょうようか)の譜面を苦勞して探し、この歌を「ムジカ・フレスカ」の合唱で会場を盛り上げて頂きました。

また、「ムジカ・フレスカ」の各メンバーと出席者の皆さんが、適宜懇親を行い普段では会話の出来ない声楽などの話題とスナップ撮影などを交えながら華を咲かせ盛り上がったところで、各テーブルごとに卒業生の代表によるスピーチをお願いし、昔の思い出、近況などをお話して頂きました。



最後に参加者の概略内訳を付け加えておきます。

- 昭和26年～昭和35年卒 3名
- 昭和36年～昭和45年卒 36名
- 昭和46年～昭和55年卒 17名
- 昭和56年～平成14年卒 9名
- 他、学校関係・来賓 6名 / 恩師 11名 でした。

実行委員長 副会長 杉山守男

～ 新しく会長補佐に「町田茂雄(昭38年卒)氏」就任～

第六回高輪会定期総会において新役職「会長補佐」が承認されました。新しく会長補佐に就任された町田茂雄氏を紹介致します。

1963(昭和38)年3月に母校を卒業し、母校へ教員として赴任しました。東海大学工業高等学校を挟んで26年間母校に勤務したのち、1993年付属デンマーク校、1998年付属望洋高等学校、2002年付属

翔洋高等学校・中学校、2004年付属第四高等学校・中学校、2006年第二高等学校を歴任しました。この間付属望星高校の兼務もあり永年に渡り、学園の発展に寄与されました。高輪会益々の発展のため、母校始め多くの付属高校に教員として赴任された経験を活かして、ご活躍を期待しております。よろしくお願ひ申し上げます。

2011年度新幹事歓迎昼食会

2011(平成23)年3月6日「第2回中等部・第62回高等学校」卒業証書授与式に先立って3月4日、高輪台高等学校アリーナにおいて「高輪会入会式」が行われました。高輪会からは土方会長、町田会長補佐、杉山・宍倉副会長、伊藤監査役が出席、入会式では町田会長補佐から歓迎の言葉が述べられました。入会式後には高輪会入会を歓迎して各クラスから選ばれた新高輪会幹事9名の皆さんと歓迎昼食会が白金「都ホテル」にて行われました。歓迎昼食会には学校から高橋昇先生、新幹事の先輩にあたる大貫絵里・佐羽内由香さんが参加されました。次々と出てくる中華料理を楽しみながらの懇談となり、先輩からは湘南キャンパスでの生活のポイントの数々、果てはノウハウまでが飛び出し新幹事の皆さんも納得したような雰囲気です。新年度からの学生生活の参考になったものとも思われます。ここに、本年の高輪会幹事の皆さんをご紹介します。



新幹事の皆さんと記念撮影

1組	岩瀬 壮太郎	6組	藤林 千祥
2組	小池 幸平	7組	宮崎 健詞
3組	伊城 龍之介	8組	石橋 拓土
4組	遠藤 集徳	9組	宮田 隼平
5組	中山 銀河		

高輪会「第4回屋形船懇親会」開催のご案内

高輪会会計年度としては2011年度早々となります、恒例の高輪会「第4回屋形船懇親会」を予定しております。今回の「屋形船懇親会」は屋形船&月島もんじゃということで、いつもの刺身や天ぷらの江戸風から下町の雰囲気のある懇親会となることでしょう。今回も幅広い年齢の方々に楽しんで頂けると幸いです。もんじゃ焼き、お好み焼きは食べ放題、ドリンク類も飲み放題です。全行程で約2時間のクルージングです。お台場に着くまでの運行時間には、素晴らしい景色をゆっくりとご堪能頂けます。お台場に停泊しましたら当船自慢のもんじゃ焼き、お好み焼きを存分にお召し上がりください。当日は夕方から日没の時間になりますので綺麗な夕日を見ることが出来るでしょう。そして、お台場と東京湾の夜景も楽しんで頂けます。高輪会では会のいっそうの発展を願い、また会員一同の親睦を深める意味も込め、皆様方の活発なご意見・ご希望などを食事と共に語って頂ければと思っております。

万障お繰り合わせの上、ぜひご出席くださるようお願い致します。

前回までの船宿とは違いますのでくれぐれも集合場所をお間違えのないように。

高輪会幹事 広村 直行、西嶋 和宏

日 時 平成23年10月29日(土)
 集合時間 15:00
 船宿出航時間 15:30

会 費 5,000円
 事 務 所 「千羽丸」
 Tel: 03-6221-2666

集合場所 朝潮小型船乗場 千羽丸乗船場
 東京都中央区晴海3-1
 詳しくは右地図参照

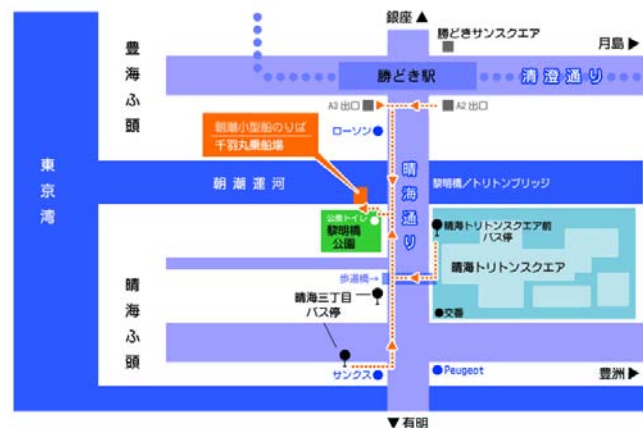
出席返信 高輪会事務局分室 伊藤信雄宛

FAX: 03-5860-7676
 E-mail: lulu-007@swan.ocn.ne.jp

参加人員は、一艘50名乗で予定しております。

会費は当日頂きます。

尚、出欠は同封のがき又は、FAX、メールにて
10月14日(金)迄に返事のほど
 お願い申し上げます。お手数おかけ致しますが、
 宜しくお願いします。



会費納入者一覧

◎高輪会維持会費納入のお願い

高輪会の会報、郵送、行事等の活動は、会員の皆様が納入していただく維持会費と入会金とから成り立っております。一人でも多くの会員の方からの維持会費は会活動の活性化にもつながるものですので、同封の郵便振替にてご納付いただきますようお願い致します。なお、本年現在で維持会費を納入いただいております皆様は下表の通りであり、この誌上をお借りして厚く御礼申し上げます。

S23	高橋 強	20	星野 玉	13	丸田 惟久	18	三瓶 慎一	12	小林 健一	22	
	別所 慶信	15	橘 寿一	14	田所 秀雄	12	二村 文啓	12	大井 淳	12	
S25	長谷川善治	12	横尾 紀憲	12	中村 道彦	14	野澤 秀治	14	H6	北垣 博康	17
	砂押 孝司	12	S35	小島 邦男	15	杉田 憲司	13	志賀 重久	15	平山 学	13
	中田順之助	12		佐藤 毅	24	細江 英一	12	石田 秀男	15	有田 哲也	13
	鶴岡 幸夫	12		今西佐恵記	13	S41	大島 悟	15	H9	青木 孝平	14
	初川 七郎	14		敦賀喜悦郎	19		戸叶 幹男	16	S54	伊藤 均	13
	井坂 暉夫	38		原田 佳典	13		初川進一郎	16		中村 則之	15
	平塚 慶治	14		澤 利雄	14		久松 博	14		飯塚 正弘	19
	木俣 重隆	12		鳥村 政男	15		長井 信也	12		小林 裕	12
	中西 實	28	S36	藤尾 智	17		松岡 幹雄	12	S55	小池 英敏	13
	木村 睦	16		土方 啓司	27		大塚 静雄	14		新井 一仁	14
S26	早川 弘	18		柳田 光徳	13		堀江 文夫	14		松宮 幸夫	19
	本田 達雄	12		黒須 昇一	14	S42	堀江 文夫	13		小川 主	20
	井出 健一	27		波多 俊吾	17		片山 文夫	15	S56	菅野 博史	12
	石関 巖	13		山崎 弘	19		金房 憲治	12		藤池 真	12
	栗田 富雄	14		横山 洋一	19		安田 信義	14		長瀬 立	12
	村田 達夫	14		吉田 輝彦	12		後藤 有三	14		日比野晃久	12
	中島 秀夫	22		胡屋謙一郎	20	S43	田中 力	17		巴 誠一	17
	奥山 貞男	16		長谷川 徹	13		緑川 一郎	17		小野 朋昭	20
	坂路 誠	17		新井 俊雄	14	S44	萩原 治生	17		馬場 博規	17
	清水 正三	17		名古屋一樹	14		谷井 明	22		笠原 健	15
	楢山 清生	17		樋口紘一郎	14	S45	本澤 守正	15	S57	松本 仁志	17
	鷹取 将夫	19		森島 英男	15	S47	秋山 進	15		大城 正人	17
	上島 弘安	12	S37	上条 秀夫	15	S48	千葉 守夫	21		亀井 哲郎	22
	篠田 尚久	14		海老沢正昭	17		岡本 信一	15		新保 孝司	18
	星 進	13		池田 謙三	12	S49	店網 邦雄	13		庄野 栄一	16
	加藤 慶男	18		大塚 昭	14		穴倉 修	17		門馬 泰史	12
	戸谷 謙次	21		石井 裕三	13		佐々木博之	12		佐藤 豪	19
	木俣 博匡	19		富山 薫順	13		高橋 忠夫	12		采女 泰之	15
	原 道明	12		小林 俊夫	15		望陀 匡輔	17		森 公法	15
	伊藤 勉	15		大塚 雅一	15		菊池 秀雄	13	S58	佐久間 励	23
	間藤 禎三	13	S38	間下 聿宰	14		長塚 元孝	13		勝又 泰平	12
S27	伊藤 信雄	14		北野 恒介	14		佐合 好正	15		大谷 謙太	17
	吉田 申一	14		飯岡 東彦	34		林 悦明	15	S59	東郷 康二	16
	田辺 英之	24		灰田 宗孝	17		小津 悦己	12		三谷 誠治	12
	黒尾 忠行	16		山中園南雄	14	S50	松本 孝二	12		楠本 隆	16
	小長井昭司	14		内田 輝雄	25		確井 斗治	13		佐藤 義之	14
	松田 公治	26		西島 正春	19		小出 信行	24		松崎 文彰	15
	田島 昇	14		齋田 健一	15		星 俊一郎	24		泉谷 剛	12
	渡辺 鈞	13		長谷川健美	15		岡本 吾朗	30	S61	太島 久典	20
S30	高橋 才二	15	S39	加藤 仁	12		石川 茂樹	15	S62	小島 圭市	12
S32	谷越 安男	32		高橋 信房	15		清水 恒二	15		新妻 吾郎	13
S33	松原 健次	12	S40	杉山 守男	13		鈴木 修	15		嶋田 晃久	15
	小林 道治	24		三浦 政彦	12	S51	浅羽 弘益	12	S63	木村 剛	14
	千代田 栄	14		吉田 光雄	27		田中 健一	12	H1	会田 涉	14
	大槻 喜弘	12		高橋 弘志	14	S52	山下 晃	15	H3	伊藤 正樹	14
S34	新井 信男	15		平野 泰宏	19		広村 直行	15		茂出木成幸	15
	岸本 康弘	19		中島 洋介	14	S53	長門 秀久	14		春木 敏哉	15
	高岩 正	14		山岸喜久生	16		谷口 元	12	H5	岩崎勝一郎	42

◎卒業生は維持会費の納入をお忘れなく、お願い致します。

・納入者の2012年度以降の期限を西暦年、下二桁にて示す(卒業年順) ・2011年(H23)年8月31日現在 ・会計年度は9月1日に始まり翌年8月31日迄とする。

××× ご注意ください ×××

◎振込め詐欺注意喚起

最近、高輪台高等学校の卒業生のお宅に「振込め詐欺」被害が発生しているようですので、同窓会として予防のお知らせをしたいと思います。全会員の皆様への周知徹底は難しいところがありますが、この会報で情報提供させていただき、できますれば友人・知人の方々へも注意喚起していただきたくお願い申し上げます。

留守番電話に設定して振込め詐欺を未然に防止

電話だけで、知らない人の名義の口座にお金を振り込んだり、家族以外の人にお金やキャッシュカードを絶対に渡さないでください。

<振込め詐欺事例>

☆昨日、息子を名乗る者から『風邪を引いた。携帯番号が変わった。』と連絡が入りました。

☆本日になって『〇〇〇万円の借金の保証人になった。直にお金を返さなければならぬ。』と電話がありました。隣で会話の内容を聞いていた次男が『振込め詐欺じゃないの?』と尋ねたところ、電話をきられました。

これらの事例はごく一部です。犯人は手を替え、品を替えて騙しに掛かります。また年寄りのみならず無差別に電話を掛けまくります。「不審な電話を受けましたら、必ず110番!!」

高輪会と後援会との 連携

校長

黒坂 道生



高輪会の会員の皆様には、日頃から本校に格別のご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2011年4月に本校の校長として赴任いたしました黒坂道生です。まことに微力ですが、本校の充実と発展のために誠心誠意努力をいたす所存ですので、歴代の校長先生同様に暖かいご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。また、3月11日の東日本大震災では、会員の皆様の中にも被災された方にお知り合いの方がおられるのではないかと案じております。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

さて、本校の卒業生は今年の3月の卒業生を入れますと、24,753名を数えます。本校卒業生は社会のあらゆる場に進出し、それぞれの個性と能力を発揮されて活き活きと活躍されています。これは本校の誇りであるとともに宝物であります。これも、高輪会の会員の皆様方のお力の賜物と重ねて感謝申し上げます。また、今年度の本校後援会の会長には卒業生の大谷謙太氏が就任されました。このように卒業生のお子さんが父親と同じ学校に在籍し、更に卒業生が保護者の代表である後援会会長に就任されたことは、本校としても大変心強いサポーターを得た思いです。

現在、本校の在校生は卒業生に負けないくらいに、学習に部活動等に青春を思い切りぶつけて頑張っています。3年生の東海大学への進学者も、すでに全生徒の9割近くが内定しております。部活動では、ダンス部が全国大会に出場し、他の部活動も明るく元気に活動しています。

今後も高輪会と後援会との連携を更に強め、在校生の指導に邁進する覚悟です。高輪会の更なる発展をお祈りいたしますと共に、今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

なでしこに学んで

校長代理

片桐 知己治



今年、僕は少し淋しい夏を過ごしています。

ここ数年頑張ってきた本校の部活動ですが、今年度は多くの部活動が『まさか、ここで…』という敗れ方をしました。敗戦の理由はどこにあったのでしょうか。

7月18日未明、僕も多くの日本人と同様、テレビにかじりついてなでしこジャパンのW杯優勝に感動していました。アメリカに先制されては追いつき、最後にPK戦を制したときには、感激して朝っぱらにもかかわらず思わず家族とともに「やった〜！」と大声を張り上げていました。

その後多くのメディアが「女子サッカーがなぜ優勝できたのか」という問いに関して「彼女たちは自分だけのために頑張ったのではなく、日本女子サッカーが認められるために頑張ったんだ」と伝えていました。

なでしこジャパンが帰国してすぐなでしこリーグが再開されました。W杯でMVPに輝いた澤穂希ら代表7選手を擁するINAC神戸と丸山桂里奈が所属するジェフユナイテッド市原との試合は1万7,812人の大観衆を集めました。W杯直前の試合では神戸対伊賀の試合の観客は448人、市原と狭山との試合の観客は302人でした。ほとんどの選手がサッカー以外の仕事でお金を稼ぎ、練習着、スパイクも自費で用意している状況で、女子サッカーを認めてもらうためには結果を出すしかないという熱意が彼女たちを最後まであきらめないチームに成長させ、W杯で優勝させたのです。

施設・環境が整い、優秀な監督と選手が集まっても勝てないことが多々あります。負けることも大切な勉強です。高輪台の生徒はそこから何を学んでくれたのでしょうか。

間もなくダンス部と吹奏楽部の全国大会。良い結果を祈念して応援に向かいたいと思います。

今年度赴任された 先生のご紹介

事務長 竹田 正敏



4月に東海大学伊勢原校舎・付属病院から異動してまいりました。これまでの学園内での勤務は、法人及び大学が主で、高校・中等部の勤務は初めてであります。異動当初は業務に対する戸惑いもありましたが、5か月が経ち、今は中高生という若い世代の生徒諸君に囲まれての仕事に、溶け込んでおります。ただ、今まで初等中等教育機関の業務に関わりがなかった訳ではなく、法人勤務の時には、高輪台高校がまだ旧学校法人であった時の役員会事務や高校・中等部の校旗作製の手配等に携わりました。4月の入学式の校旗入場では、久しぶりに我が子に再会した思いで、感激しておりました。高輪会の皆様には、母校発展のために益々ご尽力を賜りたく、また、私達教職員に対しまして忌憚のないご意見を頂きますよう、今後とも宜しくご支援の程お願いいたします。

水落 健太



4月から静岡県にあります付属翔洋高校から転勤してまいりました。翔洋高校での3年間は非常に濃く、充実した日々であったと感じております。第2ステージとなるこの高輪台高校では、2年5組の担任をはじめ、柔道部の顧問、保健体育授業を担当させていただきます。専門は柔道を通して運動する楽しさを、また受身を通して、受身の楽しさ、安全性を分かちてもらえるような授業を展開していきたいと思っています。目標は生涯スポーツです。授業を受けることで運動が好きになり、運動を続けるようになる生徒が増えれば最高です。学校のために力を尽くし、生徒のために努力をしていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

高原 優子



昨年度から保健室で勤務し、今年度は特任教諭として勤務させていただくことになりました。保健室では、生徒が心身ともに健康で快適な学校生活を送ることができるように、様々なサポートを行っています。

養護教諭は、サッカーに例えるならば、精一杯プレー出来るように、周りで応援をしていくサポーターであると思います。サッカーのサポーターは、選手に代わってプレーをすることは出来ませんが、その応援によって選手は100%以上の力を発揮出来ると言われてます。生徒が人生の競技を走り抜くための応援をしていくことが、私の仕事であり生きがいでもあると思います。生徒達の5年後10年後さらにはその後の人生が幸せであるよう支援していきたいと思っております。

日々の仕事の中で、生徒の何気ない一言に助けられ、また生徒の笑顔が私の元気の源でもあります。まだまだ、一人の人間としても未熟な私ですが、どうぞ今後とも宜しくお願い致します。

田中 義隆



今年度から特任教諭として、東海大学付属高輪台高等学校で勤めさせていただくことになりました数学科の田中義隆と申します。担任学級は1年6組。部活動はアーチェリー部の顧問をしています。

初めて担任を持つこととなり、不安と戸惑いを抱きながらも、生徒と毎日過ごすことができる日々幸せを感じています。

入学式から現在までを振り返りますと、私自身が生徒に教える立場ではありませんが、生徒から学ぶことも多かったと思います。これからも教師と生徒がお互いに切磋琢磨しながら「自分」という人間を形成していく関係を楽し上げていければと思っています。

これからも生徒のために精一杯の努力をしていきますので、今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。

諏訪 幹人

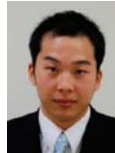


今年から東海大学付属高輪台高等学校・中部で務めさせていただく諏訪幹人です。

担当は数学で中学1・2年生と高校3年生の授業をしています。また、部活動は中部男子バスケットボール部の顧問をさせていただいています。

昨年まで大学生で勉強する側、バスケットボールをする側だったのに対し、今年から教員として勉強を教える側、バスケットボールを指導する側の立場に変わり、教えるという難しさを日々痛感し、勉強をしています。生徒が「わかった!」「できるようになった!」と言ってくれた時は、すごくうれしいです。勉強でも、部活動でも生徒がそういったことを言ってくれるよう、あっという間に過ぎていく毎日ですが、日々精進していきますので、これからもよろしくお願い致します。

加藤 新也



本年度より高校2学年の所属となりました、加藤新也と申します。今年度は弓道部の顧問、そして2年生の物理を担当させていただいております。昨年は非常勤講師として高輪台高校に務めておりましたが、本年度から専任教諭として勤務することになり、4月・5月は業務を覚えるのもやっとの状態でした。6月あたりになってようやく生徒や周りのことを見る余裕が出てきたように思います。

生徒達には、中学・高校時代で何か熱くなれることを見つけ、それをやり通して欲しいと考えています。それが今後生きていく上で大きな自信となり、困難なことがあっても乗り越える強さに繋がると確信しているからです。私は授業や部活指導、学級活動などを通して、ほんの少しでものお手伝いが出来ればと考えております。まだまだ教員としては駆け出しですが、高輪台高校のために全力を尽くして頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

佐藤 泰士



初めまして。今年度より特任教諭として勤務させていただくことになりました佐藤泰士と申します。

担当は中等部の英語です。生徒に伝えたいことは、「楽しく、自信を持って英語を使う」ということで、特に「語順」と「発音」を重視し、生徒の興味を引き付けるような授業を意識して日々努めております。昨年度まではいくつかの高校で講師として勤めておりましたので、中等部の元気さや素直さは、私にとって非常に刺激的です。困ってしまうこともしばしばありますが、気づかされることも多く、私自身も生徒と共に成長できていると実感しております。

部活動はアメフト部を担当しております。部員の意識の高さにまずは驚き、そしてアメフトというスポーツの激しさと楽しさにも驚き、素敵な部を任されたことに感謝しております。

まだまだ未熟な私ではありますが、「生徒の心に火をつける」ことができる教員を目指して努力して参ります。よろしくお願い致します。

五十嵐 雅俊



今年度から特任教諭として、高輪台高校中部で勤めさせていただくこととなりました五十嵐雅俊です。担当科目は高校1年の政治経済と中学2年の歴史です。

4月から始まった教員生活にも徐々に慣れ始め、教員という仕事ごとでつまなく多岐にわたり、決して授業を行うことだけが教員ではないということを感じております。それと同時に、日々生徒と接していく中で生徒から活力と元気をもらい、充実した毎日を過ごしております。

私は小学校の時から教員になりたいという目標を持ち、そして実現することが出来ました。しかし、「教員になる」ということはあくまでもスタートラインに立ったに過ぎないと思っております。今後は教員として、また1人の大人として社会科という科目を通して生徒の心に何を残すことが出来るのか、ということ常々考えながら教員生活を送っていきたくと思っております。まだまだ未熟者ではございますが、何卒よろしくお願い致します。

荒川 美緒



今年度より、保健体育を担当し1年4組の担任、女子バレーボール部の顧問をさせていただいております。初めての担任ということもあり、4月当初は戸惑いの日々を送っていましたが、生徒たちのはち切れんばかりの笑顔と活気あるパワーを源に教員という職業の魅力を改めて感じる事ができました。そして、本校に着任してから多くのことに感激させられています。生徒たちが気持ちよく挨拶をしてくれる、授業中に質問や意見が積極的に出るなど、高輪台の生徒たちは充実した環境で生活していることがすぐにわかりました。

本校で教育を行うことができることの喜びと共に、自分自身も一年生として多くの良き伝統を吸収して、生徒と共に成長していきたいと思っておりますので、よろしくお祈り致します。

川嶋 康太



今年度より、東海大学付属高輪台高等学校・中部の特任教諭として勤めさせていただくこととなりました。中部3年所属で部活動はゴルフ部を担当しております。4月から教員生活が始まり、全てが新しく、刺激的な毎日の中で、子どもたちに理科を教えるという夢を実現できた喜びを感じております。教師は想像以上に過酷な職業ですが、生徒たちと接するといろいろな感情を貰えます。授業、部活動、学校行事とその度に違った一面を発見でき、もっといろんな顔を見てみたいと思える。それはこの仕事でしか味わえないことですし、教師という仕事の魅力だと思っております。私自身まだ力不足を感じる場面が多々ありますが、その度に生徒たちの声や笑顔に癒され、また頑張ろうと自らを奮い立たせています。

教師としても人間としても未熟者ですが、一日でも早く生徒たちの力になれるように、日々精進して参りたいと思っております。よろしくお願い致します。

岸井 祐貴



今年度から東海大学付属高輪台高等学校・中部で勤務させていただくことになりました岸井祐貴と申します。

つい数ヶ月前まで大学生だった私にとって毎日が新しい出来事の連続であり、一日一日が大変ながらも楽しく充実した日々を送っています。そんな私が働き始めて一番感じたことは、生徒のエネルギーのすごさでした。特に廊下をすれ違う度に元気よく挨拶をしてくれ、常に生徒から元気を分けてもらっています。授業では失敗もしばしば起こり、部活動ではラグビーという未知の領域に踏み込むことになりましたが、生徒の明るさや先生方の優しさに支えられ、楽しく働かせてもらっています。これからも様々なことを経験していくと思いますが、一つ一つ学び、生徒に負けない元気を持って日々成長していきたいと思っております。至らない点がたくさんありますが、これからもよろしくお願い致します。

学校報告・部活動紹介

◆中等部バスケットボール部 「目標に向けて」

3年A組 白井 明日香

私たち、中等部女子バスケットボール部は今まで港区1位都大会出場を目標にして日々練習してきました。

都大会出場という目標は、創部以来の目標でした。先輩方があと一步というところでかなえることができなかった目標を引き継ぎ、チームが一丸となり頑張ってきました。

試合では接戦で負け、とてもくやしい思いをすることもたくさんありました。でも、すぐに気持ちを切り替え、また次の試合に向きもっと強い気持ちで練習しました。

チームメイトの中には、大きな怪我を負い、バスケができなくなってしまった子がいます。バスケをしたくてもすることができなくて、とても辛い思いをしながらも、チームを励まし、とても大きな

支えとなってくれ、私たちが絶対に都大会にこうという意識が高まりました。

都大会出場をかけた試合は、負けたら引退ということもあり、とても緊張しましたが、全員が前向きに勝つ気で試合をし、勝つことができました。

私たちがここまでこれたのは、顧問の金先生をはじめ、ご指導ご声援して下さいました先生方、お忙しい中練習を一緒にして下さい、アドバイスなどたくさんして下さいました先輩方、いつも応援してくれた男子バスケットボール部のみなさん、そしてバスケットボールのできる環境を作ってくれ、支えてくれる家族などたくさんの方々への感謝の気持ちをもって、これからもより高い目標を持ち、頑張っていきたいです。



◆ダンス部 「感動を伝える表現者たち」

ダンス部顧問 青木 直也

高校3年生は7月27日に行われた「全国高等学校ミスダンスドリルチーム日本大会」で最高の演技をしてくれました。最も競争の激しいカテゴリーであるHip Hop(S)部門に参加しました。残念ながら、結果は入賞とはなりませんでしたが、しかしながら、演技終わった後に「今までで1番楽しかった!」という言葉と、その表情は非常に輝かしいものでした。この原稿を書いている現在は、部員一丸となって建学祭に向けて練習に励んでいます。



Hip HopやBreakなどのルーズな服装で踊るダンサーに対してどんなイメージを持っていますか? ルーズな印象を持っている方も少なくはないと思います。しかし、大会で生徒たちに求められる資質は非常にレベルの高いものなのです。ただダンスが踊れるというだけではなく、「品行方正」「成績優秀」であり、演技者としては高いレベルを持ち、さらに厳しく訓練されていることが求められます。そのためDrill Teamは、ある意味プロフェッショナルでなければなりません。私は常日頃から「プロ意識を持って」と話しています。プロではないけれど、プロ意識を持つことはできるのです。普段から規律正しく生活し、学業も疎かにせず、そして、大好きなダンスには本気で取り組む。表現者である以上は、表現すべき自分が整っていないければ、何も表現することはできません。各大会の会場では、それぞれの参加校の姿勢が顕著に表れます。挨拶の仕方、荷物の置き方、応援の仕方、ステージへの入退場の際の行動など、全国大会の常連校はそういった部分から整っています。特に毎回入賞するような学校はダンス以前の部分が全てにおいて異なっているのです。本校ダンス部は全国大会に出場する部活動として、当たり前なことを当たり前に行い、高輪台高校の代表となるべく日々精進しております。応援して頂く全ての方々へ感動を伝えられるパフォーマンスを目指し、今後も励んでいきます。

◆ヨット部

2年1組 村山 仁美

小学校の時から10年間続けているセーリング競技を、本校でも部活動として続けさせて頂いています。このたび、日本代表としてレーザー 4.7級ユース世界選手権に参加することになりました。ここまでの道のりは、決して順風満帆ではありませんでした。何度も悔しい思いをしながら「次こそは!」と自分に檣を飛ばし、また大勢の方にささえられ今まで続けてきました。

海上での練習は、週末に江ノ島(神奈川県藤沢市)まで行き艇に乗っています。平日は、自宅近くでの走り込みや筋力トレーニング・市営のトレーニングセンターでの基礎体力作りに励んでいます。小柄な私にとって、風の力に負けず体の大きい選手についていくために、筋力アップが重要であり、不可欠となります。昨年から、平日における陸上トレーニングにも力を入れてきました。

競技は、グループ毎に全艇が一斉にスタートして、決められたいくつかのブイを順にまわりゴールラインを目指します。そのレース毎に1着が1点、2着が2点…と得点が付けられ、大会期間中の合計点で勝敗(順位)を競います。レース中は、その時々風の風向・風の強弱や潮の流れを考えながら、また他の艇との位置関係を気にしながらコースを考えて艇を走らせます。時として、風を読み間違えたり、スタートをミスしたりと思いつきのレース運びができないこともあります。しかし、そんな時は自分の置かれた状況を冷静に分析し、じっと我慢して挽回のチャンスを待ちます。

この競技には、年齢制限があります。私がこの4.7級クラスに参加できるのは、今年が最後となります。是非、本校の生徒として、また日本代表選手として恥ずかしくない態度で試合に臨み、悔いの残らない最高のレースで大会を締めくくりたいと思います。



2010年度活動報告

2010年度 収支決算書

(2010年9月1日～2011年8月31日)

(単位：円)

収支	科目	予算	決算	備考
収入	前年度繰越金	3,610,312	3,610,312	
	1. 入会金	4,270,000	4,240,000	入会金@10,000×424名
	2. 維持会費	100,000	594,000	維持会費79名分
	3. 懇親会費	300,000	350,000	
	4. 学校援助金	0	0	
	5. 積立金繰入	2,000,000	2,000,000	
	6. 預金利息	1,000	740	
	7. 雑収入	0	0	
	合計	10,281,312	10,795,052	
支出	1. 会議費	300,000	579,940	定期総会、会合、歓迎会等
	2. 広報費	50,000	35,000	総会パンフ広告、連合同窓会広報等
	3. 渉外費	150,000	255,000	相模甲子園、南部支部、2011年度連合同窓会参加等
	4. 印刷費	1,800,000	2,130,450	高輪会会報、アルバム等
	5. 通信費	1,100,000	1,093,480	会報発送、パンフ送付等
	6. 旅費交通費	300,000	212,000	役員会、連合同窓会等
	7. 事務用品費	20,000	174,952	用品、記念物品等
	8. 懇親会費	900,000	1,043,500	総会懇親会、演奏会等
	9. 記念品費	400,000	367,290	記念ホルダー、記念品等
	10. 補助費	50,000	0	
	11. 慶弔費	100,000	41,900	会員慶弔、記念品等
	12. 援助費	100,000	130,000	吹奏楽金賞受賞祝賀会
	13. 積立金	1,500,000	0	
	14. 予備費	50,000	0	
	15. 事務委託費	520,000	520,000	事務委託、記録委託等
	16. 雑費	50,000	34,950	振込料等
	次年度繰越金	2,711,312	4,176,590	
	合計	10,281,312	10,795,052	
積立金	前年度繰越金	3,000,000	3,000,000	
	今年度繰出金	2,000,000	2,000,000	
	今年度繰入金	1,500,000	0	
	次年度繰越金	2,500,000	1,000,000	

お知らせ

□ 会費納入のお願い

会員の皆様には、同窓会費1年分(2千円)～5年分(1万円の一括)の納入を受け付けております。

何年分か明記の上、郵便局備え付け、または同封の振込用紙をご利用ください。

口座番号 00100-9-155498

口座名(加入者名) 高輪会

※氏名欄には、必ず卒業年、組をご記入ください。

尚、すでに納入済の節はご容赦ください。

□ 住所不明者の調査

会報の届かない方(住所不明者)等をご存知の方がいらっしゃいましたら、情報(氏名、卒業年、等)を同窓会事務局までご連絡ください。

□ ホームページ開設

高輪会のホームページが開設されています。

同窓会の皆様へ同窓会をもっと身近に関心を持って戴く様に、様々な情報を発信していこうと思っておりますので、どうぞご覧になってください。

ホームページ <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>

学校・高輪会行事

(2011年9月～2012年3月)

2011年9月3日	第2回後援会委員総会
5日	高輪会会報Vol.16 発刊
13日	期末試験(～15日中等部、～16日高等学校)
17・18日	第36回連合同窓会総会(翔洋高等学校同窓会)
27日	第10回中等部・高等学校合同体育祭
10月3日	後期始業式
8日	第47回建学祭(～9日)
29日	第4回屋形船懇親会
11月1日	建学記念式典
15日	一斉公開授業(～16日)
26日	第3回後援会委員総会
29日	中間試験(～30日中等部、～12月2日高等学校)
12月29日	年末・年始休暇(～1月5日)
2012年1月22日	高等学校推薦入学試験
2月1日	中等部第1回入学試験
3日	中等部第2回入学試験
10日	高等学校一般入学試験 高輪会役員会
3月2日	高輪会入会式・3年生を送る会 / 新幹事歓迎懇親会
4日	中等部第3回、高等学校第63回卒業証書授与式
6日	期末試験(～9日高等学校)
7日	期末試験(～9日中等部)

編集後記

自然の脅威・破壊力は、過去にもありました。2011.3.11の東日本大地震では、自然の脅威・破壊力を見せつけられました。さしもの人間も手の施しようがなく唾然とするのみでした。多くの命があつという間に消え、日常が戦場のような光景に呆然としました。命のはかなさや人生について考えさせられずにはいられませんでした。「がんばろう!日本」「がんばろう!東北」の下に、日本の東北の人々が立ち上がっています。今回の大地震で亡くなられた方、被災者の皆様にお見舞い申し上げます。黙祷……。

さて、我が同窓会も高輪会会報Vol.16号を無事、発刊することとなりました。ご多忙中、原稿執筆にご協力いただきました関係者の皆様方に心よりお礼申し上げます。

同窓会連絡先

高輪会(東海大学附属高輪台高等学校同窓会)事務局
〒108-8587 東京都港区高輪2-2-16
TEL: 03-3448-4011・FAX: 03-3448-4020
ホームページ <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>
高輪会事務局分室(株山久プランニング内(東海大学附属高輪台高等学校同窓会 伊藤信雄))
〒107-0062 東京都港区南青山2-12-15 南青山2丁目ビル5階
TEL: 03-5860-7674・FAX: 03-5860-7676
E-mail: lulu-007@swan.ocn.ne.jp